

学科通信(G) 【第19号】

◇31

私事ですが、先日誕生日を迎え31歳になりました。ありとあらゆる授業、タイミングで「学科長の誕生日は17日」と触れ回り、君たちから強引に「おめでとう」を巻きあげました。「おめでとうハラスメント」略して「おめハラ」ですね。

年を重ねて変わるものもあれば、変わらないものもあります。ガソリンスタンドで給油をしているとき、子どもの頃は給油メーターがばーっと上がっていくのを見るのが好きで、後部座席からウキウキと眺めていたなあなんて思いました。しかし、31になった現在は「おいおいどこまで上がるんだよ。いい加減もう止まってくれ！止まってくれよおおおおお!!!」という気持ちで給油しております。ガソリンスタンドで目を輝かせながら店員さんが給油する姿を眺めていた齋藤少年は、20年も経てば輝きを失った目で給油している齋藤さんになるわけですよ。月日の流れは時に残酷です☆

まあでも、1日頑張って布団に寝転がったときの達成感・充実感はむしろ高校生のときよりも高いように思うし、夏の暑い日に枝豆をつまみに飲むコーラも美味い。大人、たのしい。当然、君たちが羨ましくなる時もあるけれど、逆に君たちに羨ましがられる大人にならないとなあと思った31歳の今日この頃でした。君たちにはまだまだ負けません。

◇介護福祉基礎 学年末試験

先日、3年生の学年末試験の際に、たまたま「介護福祉基礎」のテスト問題を入手したので受検させていただきました。結果、80点相当の点数をいただきました。

《第1問 感染症とはどのような病気か説明しなさい。》いや、難しいよ。「こんな感じかなあ」と書いてみましたが、学科長は部分点しかもらえませんでした。残念。その他にも、介護現場で多い感染症「疥癬」についてや、介護従事者の健康管理について、感染症に係わる時事問題など多岐に渡る専門的な問題がありました。これをクリアして介護の現場で活躍できる人になってほしいと強く思いました。

そういえば、高校生の時こんな話しをある先生に聞きました。「テストは問題だけを解こうとしてはいけない」「人の話しは内容だけを聞こうとしてはいけない」という内容でした。「なぜこの人はこんな話しをするのだろう」、「どうしてこの先生はこの問題を作ったのだろう」、そこを考えていくことでその人の話しも自分の中に残るし、その授業で本当に身に付けてほしい力や考え方が分かるのだと。

「こういう風に成長してほしいんだ!」という先生方の思いと、「私、こうなりたいんです!!!」という君たちの思い、そのぶつかり合いの中に本当の力が育まれると思っています。さて3年生、最後のテストにどんな思いが込められていたか、何か感じることができたかな。0125 文責 齋藤